

## 2019 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「実践ケア賞」

### Orange Project

【設立年月日】2014 年 4 月 1 日

#### 【授賞理由】

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの実現に向け学生ボランティアによる地域コミュニティの構築を実践している。この異なる世代間を繋ぎ地域の福祉力の向上に資する一連の活動は持続可能な共生社会実現への第一歩として高く評価することができる。

#### 【団体概要】

認知症サポーターになった大学生が大学・専門分野の枠を超え、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに貢献する」をコンセプトに活動するボランティア団体。主に認知症の正しい知識に関する普及・啓発活動を行っている。特に、認知症になっても安心して暮らせる持続可能な地域共生社会の実現のため、若年層への普及・啓発の必要性を感じているため、地域住民・行政と協働しながら、若年層を対象に認知症サポーター養成講座の企画・ファシリテートなどを行うなど、地域住民のニーズに合わせて活動を行っている。

#### 【事業活動】

主に 6 種類の活動を行っている。

- ・災害時避難所での認知症の人と家族の支援（熊本地震後）
- ・主に熊本市内の若年層や多世代を対象とした VR 認知症体験などを活用した認知症養成講座の企画・運営・ファシリテート（年平均 5 回）
- ・認知症カフェと協働した認知症啓発活動（年 12 回）
- ・熊本県熊本市中央区 Run 伴実行委員長（年 1 回）
- ・熊本県世界アルツハイマーデー記念講演会実行委員（年 1 回）
- ・認知症の人と家族の会との認知症啓発活動（年 1 回）
- ・Facebook などを活用した世界発信の認知症啓発活動（随時）

#### 【賞罰】

- ・国際ソロプチミスト熊本—さくら「クラブ賞」（2017 年 12 月 16 日）
- ・日本財団ソロプチミスト「学生ボランティア賞」（2018 年 11 月 13 日）
- ・熊本県知事「熊本県認知症サポーターアクティブチーム」認定（2019 年 2 月 7 日）
- ・熊本大学学生表彰（2019 年 3 月 19 日）

## 【活動内容等】

認知症サポーター養成講座を受講し、認知症サポーターになった大学生らが、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに貢献する」というコンセプトのもと、認知症の正しい知識に関する普及・啓発を目的に活動している。具体的には、大学生や高校生、児童の認知症サポーターを増やす目的として、若年層を対象とした認知症サポーター養成講座などの企画・運営を行っている。また、認知症カフェと協働し、グループホームで暮らす認知症の方から児童が昔遊びを教えてもらう機会を企画・運営し、未来の担い手を育成している。さらに、認知症の人とご家族の支援を目的として、「公益社団法人認知症の人と家族の会熊本県支部」と協働し、世界アルツハイマーデー記念講演会の実行メンバー、認知症啓発のための街頭活動、熊本県熊本市中央区 Run 伴実行委員長などを担っている。本団体の活動の特徴は 2 点ある。1 点目は、本団体メンバーは、医学部医学科、看護学科、工学部、法学部、教育学部、リハビリテーション学科など大学・専門分野の枠を超え創造的に活動ができることある。2 点目は、大学生という若い世代が認知症当事者や大学生以下の世代をつなぐ仲介役として役割を担っていることである。これら 2 点の特徴から、高齢者を支える若い世代に、認知症の方と家族への温かいまなざしが育成され、認知症の正しい理解が促進されている。さらに、団体メンバー自身も活動を通して認知症の方や介護家族への理解を深めることができることが特徴であると考えている。

団体の活動の効果・影響は主に以下の 3 点である。

- ・大学生、児童の認知症サポーター数が増加することにより若年層の認知症理解を深めることができている。
- ・認知症カフェの存在と意義について地域住民へ理解を深め、認知症カフェ利用者数の増加につながられている。
- ・地域住民（児童を含む）、地域包括支援センター、自治会、民生委員、行政らと協働し、多世代の認知症サポーターを育成でき地域の互助機能が高まっている。

現在行っている事業活動を継続しながら、今後は、このような活動を全国的に拡大するためにも、さらに他大学や他専門分野の学生のメンバーを増やすためのしくみづくりを検討している。今後も大学生世代が自分たちの未来を私たちの手で作るために、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に今後も貢献していく予定である。